

会 議 録

会議の名称	平成27年度第6回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成27年11月30日(月)午後7時00分～9時00分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	本間雄一委員、 武田秀規委員、田尻 円委員 長ヶ原美博委員、関口敬氏委員、吉田廣子委員 搦木道代委員 事務局(主査)
欠席者	岩村沢也委員、千葉純平委員、小森重紀委員
公開・非公開	公開(傍聴人 0人)
会議次第	1. 協議事項 (1) 今期の社会教育委員会議のテーマについて (2) 生涯学習5委員合同研修会・新年交流会について 2. 報告及び連絡事項 (1) 第4回入間地区社会教育協議会について (2) 第39回人権を考える集いについて
会議資料	定期刊行物
会議録確認	本間雄一委員

会 議 内 容 (要点記録)

◇ 開 会

○副議長あいさつ

1. 協議事項

(1) 今期の社会教育委員会議のテーマについて

【副議長】

社会教育委員会議でのテーマについては、色々のご意見をいただいている。意見をいただく中で家庭教育という方向に行っているような感もあるが。郵送してもらった平成24年度市民意識調査報告書を読んで社会教育委員として、どのような点に注目すべきか。回答者は比較的女性が多くて年齢層が高い方が多い。就業については無職の方が多い。そういうところも注意をしながら見ていきたい。この意識調査を基に生涯学習課で何か取組みを行っているか？

【事務局】

調査結果は様々な計画に活かされているが、生涯学習課独自でこの調査結果を何かに使った事はない。

【委員】

項目的に見ると「文化の創造」「コミュニティ活動」「生涯学習の推進」等は、社会教育委員として関連している分野だと思う。一方、私が注目したのは選挙権が18歳からになる中で、各調査項目の年代別を見ると、若年層の「わからない」という回答が多いのが気になった。「わからない」という回答が50%を超えている中で選挙権をあげても良いのだろうか。例えば、社会教育委員で若者の意識調査を行ったら、家庭教育の問題や行政の課題が見えてくるかもしれないと思った。

【副議長】

確かに選挙権の年齢が下がるという事で、行政の事について分からないではすまないと思う。

【委員】

選挙権の引き下げと同時に少年法の引き下げについても「はい、そうですか」で済まされる問題でもないような気がする。具体的にどうすればという案は無いのだが。家庭教育に関しては、キラリ☆ふじみで様々な公演をやっているが子ども達は観に行っているのか、それとも保護者が関心が無いのか、その辺りが気になっている。そういった情操教育も大事だと思う。

【副議長】

キラリ☆ふじみや公民館等で行っている活動にどれだけ関心を持っているのかというのもひとつの着目点だと思う。

【委員】

報告書には生涯学習の満足度が出ているが、かなり後ろのほうになっている。

【事務局】

この結果を見ると「わからない」という回答が多い。不満足というより関心が低い、とも捉えられるのではないか。

【議長】

「保育サービスの等の充実」「子育て支援環境」など、社会教育委員としてはこの辺りを拾ってみるのも良いかもしれない。知られていないという状況もあると思う。PTAなどでも研修会をやるが、市の「教育相談室」や「あすなろ」等が活用されていないのは、知られていないという事もあるのではないだろうか。

【委員】

報告書を見て「わからない」という回答が多いのが気になる。それとP94の生涯学習の不満な理由の中で「利用申し込みの方法が分からない」「利用したいメニューがない」「方法が煩雑」、P92の「町会の活動情報が届かない」などを見てコミュニティの事を考えていかなければならないと思った。

【議長】

P74「図書館サービスの充実」が6位。先日、図書館協議会に出席したが図書館のサービス向上について一生懸命に協議している姿を見て、その成果だと思った。

【委員】

以前、図書館協議会に所属していたが、色々な図書館を見学に行って皆でサービスが良くなるように協議していた。

【議長】

図書館は協議する事が具体的で分かりやすいというものもあると思う。

【議長】

今期の社会教育委員会議では1月にも新しい意識調査の結果が出るので、それを社会教育の視点で分析するのは良いと思う。

【委員】

今、家族の世帯構成が昔と変わってきており、絆力が落ちてきている。人との関わりが煩わしいと感じている人が増えているのではないか。例えば意識調査の「だれもが住みやすいまちづくり」という項目があるが、人との関わりが煩わしいと感じている人とそうでない人で個人差があるのではないか。そういった事を年齢層別に調べてみるのも良いと思う。

【議長】

学校教育と家庭環境の間にひらきがあるのでは。例えば学校で挨拶を教わり、学校では挨拶ができるが、注意してくれる人がいないと挨拶できない。それは家庭環境も様々で、経済環境などが違うのも原因だと思う。どのような支援があればそれが埋まっていくのか。

【委員】

学校・家庭・地域というのが学校ではひとつの理念を示す。そのことによって3者がひとつに纏まる。理念がないとひとつに纏まるのは難しい。

【議長】

学校等でも色々な組織を作ってはいるが、必ずしも全てが機能しているわけではない。逆にやる人が少ないのに組織が多すぎる場合もある。

【委員】

10数年前に縁もゆかりもない富士見市に引っ越してきて、町会に入ることもない賃貸住宅だったため全く情報も無かった。最初は嫌々ではあるがPTAの活動もやってみるとそこから広がるコミュニティもあった。同じような経験をしている家庭も多くあると思う。組織に色々携わってみて色々と見えてくるのが感想であって、もともと地域に住んでいる人はそれまでの環境で色々学ぶ機会はあると思うが、全く分からない人に対してどのように伝えていくか、学校に入学したばかりでママ友もいない人にどうやって伝えていくか、どうしても小さい子を育てながら共働きをしているため参加できない世代、少し関わってみて煩わしいと感じる世代、情報が届かないと感じる世代などに分かれていると思う。もちろん地域ごとに差はあるだろうが、お知らせをしていかなければ存在を分かってもらえないと思う。公民館にもサロン等あるが、どうやって広めていけるか、せっかくあるのに知らない人が多すぎる。市の中でも生涯学習は広いと思うが、家庭教育ということを知って、子どもを育てている親からすると躰のことかな、という真っ先にそこを考えてしまったのだが、じゃあ他の世代ならどう感じるのかとか、分からない事を分からない、という事も大きいと思う。分からない人の数が多すぎるので、分からない事を少しでも分かるようにしていく事が家庭教育につながるのではないかと思った。コミュニティが広がるきっかけになれば、多少なりとも効果があるのではないかと思った。

【議長】

例えばだが、社会教育に関わるところをピックアップすると、今のように色々な話が出てくるので、それを社会教育委員の意見としてまとめる。もうひとつは災害の備えという部分では、地区体育祭の時に防災訓練を取り入れるという事を要請するとか、そうすると実践的にもなってくる。方向性として意識調査の調査研究でどうだろうか。

【副議長】

1月に調査報告書が出る。社会教育委員で関係する項目を絞り込んでいけば、色々な意見が出た物を纏めていけるのではないか。

【委員】

18歳に対する意識調査やアンケート調査をやってみるのはどうだろうか。

【副議長】

その意見は良くわかる。以前も社会教育委員で調査を行ったが、質問項目を作るのに非常に時間がかかった。市民意識調査のようにこのまま出してしまうと回答が広すぎてしまって、分析する事も難しい。例えば、今期は市民意識調査の報告書を基に分析を行い、次期の社会教育委員でもっと詳しく調べる際に高校生にアンケートをとってみる、というやり方もあると思う。

【議長】

社会教育委員会のテーマについて決めるにあたって、意識調査報告書を用いて分析をしていくという事で良いか。

【委員】

せっかく出ている物なのでこれを活用しない手はないと思う。

【議長】

例えば、目次の中で社会教育に関わる事について取り出してやってみるかというやり方もある。社会教育という大きな箱の中で、それぞれの経験とか視点で色々と意見をいただけたらと思う。

【事務局】

新しい報告書が出来た段階でお送りする。そして目を通して見て関心が高かったところを発表するという方向でいく。

(2) 生涯学習 5 委員合同研修会・新年交流会について

【議長】

社会教育委員としてはどうするか。

【委員】

セッティングされていれば調整をつけて行くが、無くても良い会なら無くしても良いのではないか。

【委員】

何回か参加したが、そこで知り合った人とその後、交流もないので、やらなくても良いのではないか。

【委員】

会場で会う人は大方が元々知っている人。その場で知り合ってもその後の交流があるわけではない。他の委員会の活動は参考にはなるがあえてやる必要もない。

【委員】

ただ集まって懇親会をやるだけならやる必要はないのではないか。研修の内容がちゃんとしていればやっても良いのでは。今のままならやらなくても良い。

【委員】

やるのであれば5委員の活動の中身を知る、という事だけで良いと思う。交流の場というのも研修会の発表の中で出来るのではないか。あとは時期的な問題もある。

【委員】

必要性が無いのであれば、無理してやらなくても良いと思う。

【議長】

これから新たな事を決めていくのは時間的にも難しい。形ありきではなく何をやるか明確なものがあって開催するのが良いと思う。毎年1月に必ずやるということではなく、委員として活動していくなかで課題が出た時に何かをやるという事でよいのではないだろうか。

【副議長】

社会教育委員として会議をやっていく上では、色々な事を知っていたほうが良い。そういう趣旨で開催するのであれば意義はある。

【議長】

社会教育委員としては、1月30日が今まで通りの内容であるならばやらないほうが良いと思う。日を変えるなり、内容を変えるなりで必要に応じて、交流は図っていきたいと考えている。内容が社会教育委員からの発表になったとしたら、これからの準備期間が短くて難しい。

2. 報告及び連絡事項

(1) 第4回入間地区社会教育協議会について

(2) 第39回人権を考える集いについて

※委員より資料に基づき報告

3. その他

次回以降の会議日程

第7回会議

日程：平成28年2月15日（月）午後7時～

場所：教育委員会 2階 会議室

第8回会議

日程：平成28年3月14日（月）午後7時～

場所：教育委員会 2階 会議室

4. 閉会

○議長あいさつ

(閉会)